

中学2年 理科講座

[第2分野] 2. 気象とその変化

• 空気中の水蒸気

基本の解説と問題



講師:仲谷のぼる

空気中の水蒸気

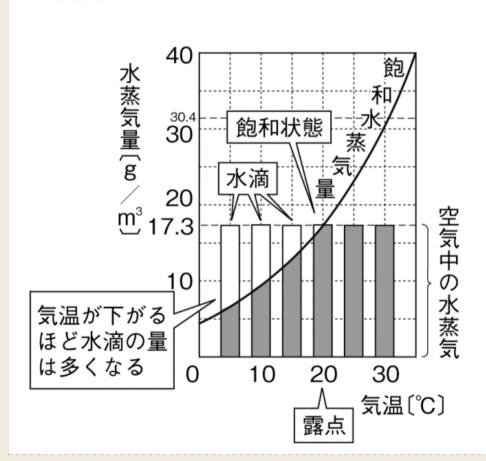
【飽和水蒸気量】

- 空気1m³中にふくむことができる水蒸気の量には限度があり、飽和水蒸気量(単位:g/m³)という。
- 飽和水蒸気量は気温によって変化し、気温が高いほど飽和水蒸気量も大きくなる。
- 空気中にふくまれる水蒸気が水滴に変わりはじめる温度を 露点という。
- 飽和水蒸気量に対する、空気1m3中にふくまれる水蒸気の割合を湿度という。

湿度(%) =
$$\frac{空気1m^3$$
中にふくまれる水蒸気量 (g/m^3) × 100 その気温での飽和水蒸気量 (g/m^3)

空気中の水蒸気

• 1m³中に水蒸気を17.3gふくむ空気を、気温30℃から冷やしたときのようす。



・気温 30℃, 水蒸気量 17.3g/m³ の 空気の湿度

$$\frac{17.3}{30.4} \times 100 = 56.9 \cdots (\%)$$

・気温 30°C, 水蒸気量 17.3g/m³ の 空気を 5°Cまで冷やし、空気 1m³ 中にできる水滴の量は、

基本問題

- ① 空気中の水蒸気が水滴に変わりはじめると きの温度を何というか。
- ② 湿度を求める公式の()にあてはまる語句を答えなさい。 空気1m³中にふくまれる(ア)(g/m³) その気温での(イ)(g/m³)
- ③気温が高くなると飽和水蒸気量はどうなるか。
- ④ ある空気 1m³を調べると、気温が14℃でふくまれる水蒸気は9.6gであった。この空気の湿度は何%か。ただし、気温14℃での飽和水蒸気量は12g/ m³とする。 9.6/12 × 100=

基本問題 答え



① 空気中の水蒸気が水滴に変わりはじめると きの温度を何というか。

露点

② 湿度を求める公式の()にあてはまる語句を答えなさい。 空気1m³中にふくまれる(ア)(g/m³) その気温での(イ)(g/m³)

ア:水蒸気量

イ:飽和水蒸

気量

- ③気温が高くなると飽和水蒸気量はどうなるか。
- 大きくなる
- ④ ある空気 1m³を調べると、気温が14℃でふくまれる水蒸気は9.6gであった。この空気の湿度は何%か。ただし、気温14℃での飽和水蒸気量は12g/ m³とする。 9.6 × 100=

80%



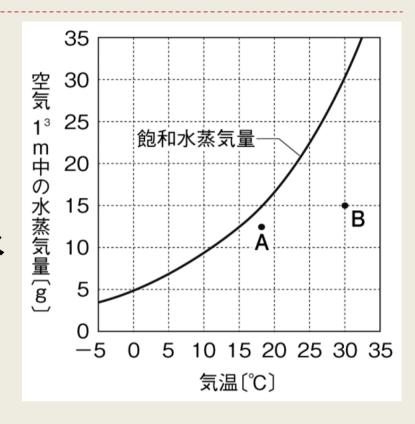
応用問題

右のグラフは、異なる地点AとBでの空気のようすを示している。

1. 地点Bの湿度は何%か。

テストに出る

- 2. 地点Aの湿度は、地点Bと比べてどうであるか。
- 3. 地点AとBのうち、露点が低い のはどちらか。また、その露点 は何℃か。



応用問題を解いて、 さらに知識を定着させよう!



確認・応用問題・Practiceの解答(PDF&解説動画)は、

http://e-clus.com/ で購入できます。







学習動画イークルース

検索

